



三松グループ

## リメイクの部署発足 思い出の品、愛用品を インテリアグッズや服に

三松グループは4月にリメイクに特化した新規部署を発足、事業を広げる「リメイクフェア」を各地で始めた。昔もののリメイクは数年前から行っていたが、毛皮やレザー、ジュエリーなどにアイテムを広げ、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを強めていく。さらにこれまでの衣料品から衣料品だけでなく、衣料品からインテリアなどへのリメイクも行い、ミンクコートがクッションやラグに（サンプル）

「自宅に眠るお客様が思いが詰まった品々を、使いたいものに变えて、ニーズを満たす」としている。

リメイクは昔もの毛皮を中心にハイグレード・ハイクオリティな商品を提案、扱ってきた狼皮を生かす。毛皮の場合、母や祖母のミンクコートは家族がみんなで使えるクッションや愛犬のドッグウェアなどになる。素材や組み合わせがそれぞれ違うため、専門アドバイザーと相談しながら決めていく。ほかにも長年愛用のレザーバッグや財布は革のエステテア後に状態に合わせた色染めをすることで、見違えるように生まれ変わる。さびてしまったり、デザインを変えたい指輪をメッキレスや違った指輪にすることも。料金はリメイクの内容により

って違うが、例えばミンクコートからクッションが3万9800円からで、一点一点ニーズに応えるため手元に届くまでには2、3カ月かかる。

新たなリメイクフェアは4月中旬から、三松の川越店や赤羽

店、吉祥寺店、福岡大丸店などで順次開催。「全国の各店で2、3回行っていく」考えだ。フェア以外にも、各店で事前に予約や相談を受けて、専門スタッフを派遣するなどに対応する。